

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	建築学設計演習
科目基礎情報					
科目番号	94032	科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習	単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建設工学専攻A	対象学年	専1		
開設期	後期	週時間数	2		
教科書/教材	/新建築、住宅特集、a + u等の建築関係の雑誌、「コンパクト建築設計資料集」日本建築学会編 (丸善)				
担当教員	大森 峰輝,前田 博子				
到達目標					
(ア)既得の知識・イメージにとらわれず、自由に建築空間を発想することができる。 (イ)調査の上、要求される空間特性や形態的特徴などの条件をおおよそ理解できる (ウ)コンセプトに適った、創造的な空間を計画できる。 (エ)内部空間及び外観に一貫したコンセプトに基づいた表現を与えることができる。 (オ)正確な図面が作成でき、設計内容に見合った適切な図面表現を作り出すことができる。 (カ)自らの設計意図を十分に伝達することができ、質疑に対し適切な説明が出来る。 (キ)様々な諸条件を総合して、美的な空間を創造できる。 (ク)計画理論・法規制を考慮した上で、与条件に適した企画を立案できる。 (ケ)安全・快適性で美的な都市空間を創造できる。					
ルーブリック					
	最低限の到達レベルの目安(可)				
評価項目(ア)	既得の知識・イメージにとらわれず、自由に建築空間を発想することができる。				
評価項目(イ)	調査の上、要求される空間特性や形態的特徴などの条件をおおよそ理解できる				
評価項目(ウ)	コンセプトに適った、創造的な空間を計画できる。				
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	後学期を通して2課題を行う。一つはその時点で公開されている設計競技を課題として採用する。競技設計を課題とすることにより、テーマに対する調査、コンセプトの検討熟考、既成概念にとらわれない自由な発想と命題に対する解決法の案出、企画内容に対する適切で、かつ、美的にレベルの高い図面制作が求められる。もう一つは、既に習得した都市計画及び建築法規の知識を基にした、都市計画的な設計課題とする。商業地区計画あるいは住宅地計画の企画立案、マスタープラン作成、プレゼンテーションを行い、快適・安全な都市空間の創造に関する実践的知識を身に付ける。				
授業の進め方・方法					
注意点	提出期限を厳守すること。病気などの特例を除き、期限以降の提出は一切認めない。特例の場合は診断書などを提出すること。				
選択必修の種別・旧カリ科目名					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	第1課題ガイダンス：課題説明（課題の意図、計画の要点、日程、注意事項）、全体質疑		
		2週	エスキス及び表現方法検討：対象物調査、コンセプトの設定、計画、プレゼンテーション検討、スタディ模型作成		
		3週	エスキス及び表現方法検討：対象物調査、コンセプトの設定、計画、プレゼンテーション検討、スタディ模型作成		
		4週	エスキス及び表現方法検討：対象物調査、コンセプトの設定、計画、プレゼンテーション検討、スタディ模型作成		
		5週	エスキス及び表現方法検討：対象物調査、コンセプトの設定、計画、プレゼンテーション検討、スタディ模型作成		
		6週	プレゼンテーション図面作成・課題提出		
		7週	プレゼンテーション図面作成・課題提出		
		8週	作品発表・講評：各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表、学生からの質疑		
	4thQ	9週	第2課題ガイダンス：課題説明		
		10週	企画立案、エスキース（チェック）		
		11週	企画立案、エスキース（チェック）		
		12週	プレゼンテーション図面作成、課題提出		
		13週	プレゼンテーション図面作成、課題提出		
		14週	プレゼンテーション図面作成、課題提出		
		15週	作品発表・講評：各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表、学生からの質疑		
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		課題	課題	合計	

総合評価割合	50	50	100
専門的能力	50	50	100